

バドミントン競技要綱

【日時】

2025 年 11 月 15 日（土）

11 月 16 日（日）

【会場】

第 1 体育館

【部門】

いずれかの部門の登録ペア数が極端に少ない場合は部門を統廃合することがある。

同一種目において同じ人が複数のペアに所属することは禁止とする。

※ 応募ペア数が多い場合は抽選を行い、落選の場合のみメールにて代表者に連絡する。

※ 以下、経験者を「バドミントンの競技歴が 2 年以上ある者」と定義する。

スタンダード部門

〈出場条件〉

- ・ バドミントン部、医学バドミントン部、バドミントン同好会のいずれにも所属しない者であること。

〈ハンディキャップ〉

- ・ チーム内に経験者でない選手がいる場合、そのチームに 2 点を追加する。また両チームともこれに該当する場合、点数加算はせずに 0 点の状態から開始する。ただし両チームの合意があればこのハンディキャップを適用しないことも可能である。
- ・ 原則として対戦チーム間で女子の人数に差があった場合、女子の多いチームに女子の人数差×1 点を与える。ただし両チームの合意があれば女子のハンディキャップを適用しないことも可能である。

ハイレベル部門

〈出場条件〉

- ・ バドミントン部、バドミントン同好会、医学バドミントン部、ULIS バドミントン部いずれかに所属する者、または経験者を 1 人以上含むペアであること。

〈ハンディキャップ〉

- ・ チーム内に経験者でない選手がいる場合、そのチームに 2 点を追加する。また両チームともこれに該当する場合、点数加算はせずに 0 点の状態から開始する。ただし両チームの合意があればこのハンディキャップを適用しないことも可能である。

【試合形式】

トーナメント形式

準々決勝まで

- ・ 1 ゲーム 11 ポイント、3 ゲームマッチ、試合規定時間を 25 分とする。
- ・ デュースはありとし、2 点差がつくまでゲームが続行される。点数差が 2 点以上つけられない場合は、20 点先取したペアがそのゲームの勝者とする。
- ・ 試合規定時間に達した時点での得点で勝敗を決め、同点の場合は次に得点したペアの勝利とする。その結果ゲームカウントが並んだ場合は総得点で勝敗を決める。

準決勝以降

- ・ 1 ゲーム 21 ポイント、3 ゲームマッチ、試合規定時間を 45 分とする。
- ・ デュースはありとし、2 点差がつくまでゲームが続行される。点数差が 2 点以上つけられない場合は、30 点先取したペアがそのゲームの勝者とする。
- ・ 試合規定時間に達した時点での得点で勝敗を決め、同点の場合は次に得点したペアの勝利となる。その結果ゲームカウントが並んだ場合は総得点で勝敗を決める。

【ルール】

- ・ 原則として、日本バドミントン協会競技規則に準ずる。
- ・ 試合規定人数は 1 ペア 2 人。（最大登録可能人数は 3 人とする。）
- ・ 遅刻は 5 分まで許容する。
- ・ 試合開始時間から 5 分以内に試合規定人数に満たないペアは不戦敗とする。ただし、規定時間内でのエキシビジョンマッチは可能とする。

【当日の選手追加について】

- ・ 敗退ペアの選手を追加することは不可とする。
- ・ 同一種目内において複数のペアへの追加は不可とする。
- ・ 一度削除した選手の再追加は認めない。
- ・ ペア内の選手変更は 1 人まで認めるが、このとき登録可能人数である 3 人を超えてはいけない。

【審判】

バドミントン部、バドミントン同好会、医学バドミントン部

【注意事項】

- ・ 選手本人が登録されていないペアで参加することは禁止とする。
- ・ 不正出場があった、または審判の指示に 3 回従わなかったペアは失格とする。
- ・ 本試合ではスポーツ・デー学生委員会が用意したシャトル以外の使用は禁止とする。
- ・ ラケットは貸し出しを行うが、数に限りがあるため極力各自で用意すること。またラ

第 49 代スポーツ・デー学生委員会

ケットの貸し出しを行うとき、ラケット貸し出しシートへの記入を必須とする。

- ・ 当日に練習用としてシャトルやラケットを借りることは可能だが、会場内での使用に限る。
- ・ 室内用シューズは必ず着用する。忘れた場合は試合への参加は不可とする。
- ・ 会場内での飲食、喫煙は禁止とする。